

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「一輪車で仲間作りと 体力作り」

一月の終わりに、「先生、一年生の〇〇ちゃんが乗れるようになったで！」と大きな声で報告してくれたのは六年生。

富小学校では、一年生に入学して四月の終わりには一人一人に一輪車を配り、各自で練習をするのが慣例となっています。一年生は、なかなか一輪車に興味がわかず体育や学級活動で練習するぐらいでした。

乗れるようになったのは、一年生の男の子と女の子一人ずつで、高学年の児童が以前より手を持つたり肩につかまらせたりしながら補助していた児童でした。早速乗れだした児童の所へ行き、乗る様子を見ました。五歳から八歳ほど進みました。乗れた一年生も嬉しかったようですが、世話をしていた六年生が自分のことのように喜んでいました。

このように、高学年が低学年の子ども達の世話をしながら一緒に

練習する姿がよく見られます。

九月になると、運動会での一輪車演技の発表をめざして、三年生以上が練習を始めました。どんな演技発表をするか相談し、協力して練習しました。何回も失敗を繰り返しながら少しずつ協力し出来だしました。高学年の演技「手繋ぎくぐり」が成功し大きな拍手をもらいました。

また、昨年は岡山県教育庁主催の「チャレンジランキング」の「一輪車五〇メートルリレー」にも高学年が挑戦し、好タイムで岡山県一位の認定証をもらいました。人数は少なくなってきたいますが、周りの児童と支え合い暖かく手をさしのべる子ども達を大切に見守り育てていきたいと思っています。



鏡野町生徒指導推進連絡協議会

磯山 雅史

のびのびひろば たけのこ堀りにいったよ!

鶴喜保育園では毎月、健康デーとして、散歩や運動遊びなど異年齢のかかわりをしながら、体をしっかり動かして遊んでいます。

4月は鶴喜小学校の里山にたけのこ堀りに行きました。によきにょと出ているたけのこを見つけては「すごい! いっぱい出とる!」「ここにもあった!」と大はしゃぎ! たくさん収穫できました。重たいけれど落とさないように大事に持って園に帰りました。4、5歳児が皮をむき、給食の先生をお願いして、筍ごはんや天ぷらにもらい、おいしくいただきました。

【※鶴喜小学校の里山には、春はよもぎ、筍、ワラビの収穫、アスレチック等一年を通して遊びに行っています。】

どうやって掘る?

ひとりて持てる?
お兄ちゃんが持とうか?

皮が何枚もある~

みてみて!
すごい!

(鶴喜保育園)